



日本宝くじ協会助成事業概要のお知らせ

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会は、令和7年度、一般財団法人 日本宝くじ協会の助成金を受けて、少年健全育成資料の作成・配布事業を下記のとおり実施いたしました。

記

1 助成事業名

令和7年度 健全育成資料（小・中高生用）「健全育成ハンドブック」の作成・頒布
助成事業

2 助成事業者名

公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会

3 配布先

47都道府県全国少年警察ボランティア会員、47都道府県小・中学生及び保護者、
全国の図書館、マスコミ、賛助会員、47都道府県小・中学校教職員、全国教育委
員会

4 配布数量

小学生用69,000部 中高生用69,000部 合計138,000部

5 助成事業の概要

- (1) 全国の少年警察ボランティアは、各活動地域の小・中学校や地域において、小・中学生、保護者等に対し、非行や犯罪、被害等の実態とともに、それらを防止するため知っておきたい事柄について非行防止教室や健全育成講習等を行っています。

その際に利用するテキストが「健全育成ハンドブック」で、年齢層（小学生向け・中高生向け）に応じて、身近な題材を取り上げ分かりやすく説明しています。令和7年度は、小学生用69,000部・中学生用69,000部の合計138,000部を作成し、小中学生の児童、生徒、保護者、小中学校教職員、ボランティア活動従事者、全国の教育委員会、図書館等に配布し全国で活用していただくこととしました。

- (2) 本資料は、野口京子文化学園大学名誉教授を責任者とする編集委員会を設け、教育心理分野の学識経験者、小・中学校校長、警察庁生活安全局人身安全・少年課職員、科学警察研究所犯罪行動科学部少年研究室長、少年警察ボランティアなど11名の参加を得、検討を重ねて作り上げたものです。

- ① 特に、社会問題となっている「闇バイト」に関することやスマートフォン等の危険性、覚せい剤・大麻等の薬物や酒・タバコの危険性などを取り上げています。

- ② 小学生向け、中高生向けとも、規範意識、ルールへの遵守、自分の行為への責任と自覚、相手への思いやり等を自ら考えていける記述となっています。

※ 令和7年度から、中学生用冊子を「中高生用」として高校においても活用できる内容に改めています。

③ 随所に保護者向けアドバイス欄を設けています。

この小冊子の配布を通して、少年警察ボランティアの活動を学校の児童・生徒及び教職員や青少年育成関係者にも広報するとともに、ボランティア自身の認知度アップにもつなげています。

また、事業結果を全少協ホームページ及び機関紙「みちびき」に掲載し、社会に広く少年警察ボランティアの活動を理解してもらうとともに、地域・学校・家庭が一体となり、子どもを見守り育てるためのネットワーク作りにつなげています。

※ 機関紙「みちびき」

年4回（4月、7月、10月、1月）発行しています。1回の発行部数は、概ね2万部です。

(3) 最近の少年非行をめぐる情勢ですが、刑法犯少年の検挙人員は毎年減少を続けていましたが、コロナ感染症が収束してからは増加傾向にあり、特に大麻事犯で検挙された少年が増加して薬物乱用の拡大が続いています。

（大麻取締法違反で少年の検挙件数は、年間1,000人以上）

また、スマートフォン等の普及により、SNS等に起因する少年事件も多く発生するようになり、闇バイトから派生した殺人事件や強盗事件など社会の耳目を引く大きな事件となっています。

このほか、中高生だけではなく低年齢層の児童にもインターネットの利用が広まっており、SNS等に起因する事犯の被害児童数は高い水準で推移しています。

本冊子では、具体的に「身を破滅させる覚せい剤・大麻等の乱用」「闇バイトは犯罪」「賢いネットの使いかた」「ネットのルールづくりのために」等と題して問題点を取り上げて示すなど、より現状に即した内容として掲載し、多くの方に配布しました。

なお、当協会のホームページから本冊子を閲覧・印字することができます。

6 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人全国少年警察ボランティア協会

住 所： 〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号

山京半蔵門パレス303号

代 表 者： 理 事 長 田中 法昌

担 当 者： 事務局長 柴田 佳幸

電話 番号： 03-3239-4970

F A X： 03-3556-1133

E-mail： info@zensyokyo.or.jp

U R L： <http://zensyokyo.or.jp>